

令和 2 年 9 月 11 日現在

機関番号：32682

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究期間：2017～2019

課題番号：17K18480

研究課題名（和文）人類学的手法を取り入れた黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』の複合的研究

研究課題名（英文）Study on the "Presence Africaine" with anthropological methods

研究代表者

佐久間 寛 (Yutaka, Sakuma)

明治大学・政治経済学部・専任講師

研究者番号：80726901

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 4,700,000円

研究成果の概要（和文）：アフリカの独立運動に影響を及ぼした黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』（以下PA誌）をめぐって、フランスやアフリカ諸国にて研究調査を実施し、その成果を国際シンポジウム（2017年、2019年）や学会誌の特集（2018年、2020年）を通じて公開した。とりわけPA誌刊行70周年を記念して東京外国語大学で実施された2017年の国際シンポジウム「『プレザンス・アフリケーヌ』研究：超域的黒人文化運動の歴史、記憶、現在」は、同誌が1956年に開催した黒人作家芸術家会議の精神を冷戦崩壊後の現在に再現する試みとなった。同シンポジウムの成果は、2020年にPA誌198号の特集を通じて世界へ発信された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

『プレザンス・アフリケーヌ』は世界の黒人知識人が研究や創作を発表する場ではあっても、それ自体は十分な研究対象となり得てこなかった。理由の一端は、同誌の複合的性格を捉える方法論がなかった点にある。そこで本研究は、文化人類学と文学研究の手法を通じて『プレザンス・アフリケーヌ』を多角的に研究した。結果として、同誌の歴史的意義が、（1）植民地主義と人種主義に抗しつつ黒人文化を創造する実践の場であると同時に、（2）地域・世代・専門性を超えた黒人知識人のネットワーク構築の場である点が明らかになった。現代世界には植民地主義と人種主義が再帰しつつある。本研究はこうした状況の批判的洞察に資する知見を提出した。

研究成果の概要（英文）： Research studies on "Presence Africaine" (PA), a black culture magazine that influenced the African independence movements, were conducted in France and African countries and their findings were presented in international symposiums (in 2017 and 2019) and as special features in conference journals (in 2018 and 2020). In particular, the 2017 international symposium held at Tokyo University of Foreign Studies in commemoration of the 70th anniversary of PA's publication, "A study on "Presence Africaine : Towards New Political and Cultural Perspectives Identities, memories and resistances between Africa, Europe and the Americas from colonization to post-colony," was an attempt to reenact the spirits of the Congress of Black Writers and Artists held by PA in 1956 in the post-Cold War days. The achievements of this symposium were publicised as a special feature in the 198th issue of PA.

研究分野：文化人類学

キーワード：文学 文化人類学 雑誌研究

1. 研究開始当初の背景

本研究の前身は、エメ・セゼールの生誕 100 年を受けて 2013 年に行ったワークショップ「エメ・セゼールとの対話：植民地主義・アフリカ・シュルレアリスム」(カルチュラル・タイフーン 2013、東京経済大学)に遡る。研究代表の佐久間と分担者の中村は、以後も大東文化大学における読書会を定期的で開催し、1950 年代のカリブ・アフリカの黒人知識人の著述を読解してきた。その過程で、セゼールも関わった『プレザンス・アフリケーヌ』の本格的な研究は、ごく限られた試みをのぞき不在であることが判明した。また超域的・学際的な同誌の「全体的」思想系を理解するためには、文学のみならず文化人類学的手法が有用であるとの見通しを得た。

これをふまえず、2015 年度から、中村を研究代表者、佐久間を副代表者として、AA 研の共同利用・共同研究課題「プレザンス・アフリケーヌ研究：新たな政治=文化学のために」を発足し、研究会を重ねてきた。その成果は AA 研の紀要にちかく特集として公表する予定である(論文 3 本が現在査読中)。とはいえ上記共同研究の枠内では年 2 回の研究会実施が限界であり、また肝心の『プレザンス・アフリケーヌ』誌を通巻で所収する機関が国内に皆無であることが足かせとなってきた。逆にいえばこうした予算的な問題さえ解決できれば、『プレザンス・アフリケーヌ』をめぐる研究は飛躍的に発展できるという見通しが得られた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、第二次大戦後に公刊された、アフリカ諸国の独立に影響を及ぼした黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』を、文化人類学者と文学研究者が協働的かつ体系的に読解・分析する作業を通じて、アフリカ地域の脱植民地化の原動力となった 1950 年代の文化・思想運動を再評価するとともに、これを手がかりとして、グローバル化がなくてなく進展した冷戦崩壊後の現代における、新たな政治と文化の関係を構想することである。

3. 研究の方法

研究方法の特色としては、テキストの収集と読解というオーソドックスな文学研究の手法に加え、存命の関係者に対するインタビュー、書店・出版社でもあるプレザンス・アフリケーヌ社におけるアンケート調査および参与観察という文化人類学的な臨池調査の手法を導入する点である。これは『プレザンス・アフリケーヌ』という雑誌の特性をふまえた研究手法であると同時に、雑誌研究の分野に新たな可能性をもたらすことが期待できる試みである。

4. 研究成果

開始年度である 2017 度は、アフリカ・カリブの反植民地運動に大きな影響をおよぼした黒人文化総合誌『プレザンス・アフリケーヌ』が刊行 70 周年を迎えることから、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA 研)共同利用共同研究課題「『プレザンス・アフリケーヌ』研究 あらたな政治=文化学のために」との共催により、同誌を主題とする国際シンポジウム「『プレザンス・アフリケーヌ』研究：超域的黒人文化運動の歴史、記憶、現在」(8 月 22~24 日、於東京外国語大学)を組織した。また同シンポジウム開催とあわせてパリのケブランリー美術館が企画した「プレザンス・アフリケーヌ展：超域的黒人文化運動をめぐるイメージの軌跡」(2017 年 8 月 17~31 日於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)のアジア初開催を実現した。さらに 2018 年 3 月 18 日~19 日には、神戸大学にて開催された上記共同利用共同研究会の今年度第 3 回研究会においては、研究代表者である佐久間が文化資本概念に基づく研究方針について報告をおこなうとともに、研究分担者である中村が上記シンポジウムを総括し、2019 年度にストラスブール大学で開催される第 2 回国際シンポジウム「プレザンスアフリケーヌ研究：言語、文化、政治(仮題)」に向けた準備を整えた。なお研究代表者の佐久間は、2018 年 2 月、フランスに渡航し、パリとストラスブールで資料収集と聞き取り調査を実施した。

2018 年度は、まず 5 月、研究代表者の佐久間、研究分担者の中村は、研究協力者の小川了と研究協力者の村田はるせとともに、日本アフリカ学会第 55 回学術大会にてフォーラム「文学・運動・メディア：プレザンス・アフリケーヌ研究 2」を組織した。ここで得られ

た成果にもとづき、上記4名は、日本アフリカ学会の学術誌『アフリカ研究』94号にて特集「プレザンス・アフリケーヌ研究」を組んだ(12月)。また、『プレザンス・アフリケーヌ』編集長R.フォンクア氏やストラスブール大学のロモ・ミヤジオム氏との協議に基づき、昨年度開催した国際シンポジウムの成果を『プレザンス・アフリケーヌ』誌の特集として公開すべく準備を進めた。さらに、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題「プレザンス・アフリケーヌ研究:(2)テキスト・思想・運動」(代表:中村隆之)との共催により、2018年6月と2019年3月に研究会を開催した。

2019年度においては、まず7月27日、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用共同研究課題『プレザンス・アフリケーヌ研究:(2)テキスト・思想・運動』との共催にて研究会を実施し、研究代表者の佐久間と研究分担者の中村はそれぞれ報告を行った。2019年9月26日、27日、フランスのストラスブール大学にて国際シンポジウム『Presence Africaine : Espaces, langues, cultures, politiques et sociétés dans l'espace francophone (Afrique, Amériques, Asie, Europe) du colonial au post-colonial』を開催し、中村は基調講演を、佐久間は報告をそれぞれ行った。また、この機会を通じてプレザンス・アフリケーヌ誌の関係者に聞き取り調査を実施した。2020年1月出版された『プレザンス・アフリケーヌ』誌198号にて、本研究が組織・運営に関わった2017年の国際シンポジウムの特集号が組まれた。佐久間と中村は、研究協力者の星埜守之(東京大学)およびA・S・ロモ=ミヤジオム(ストラスブール大学)とともに序論を寄稿した。佐久間は、2020年3月2日から16日までフランスに渡航し、パリおよびストラスブールにて文献調査と聞き取り調査を行った。

以上の一連の作業を通じて本研究では、同誌の歴史的意義が、(1)植民地主義と人種主義に抗しつつ黒人文化を創造する実践の場であると同時に、(2)地域・世代・専門性を超えた黒人知識人のネットワーク構築の場である点にもとめられることを明らかにした。現代世界には植民地主義と人種主義が再帰しつつある。本研究はこうした政治的かつ文化的な状況の批判的洞察に資する知見を提出したといえる。

以後は、こうした研究成果を日本語成果論集の商業出版等を通じて、さらに継続していく予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 94
2. 論文標題 序論：ブレザンス・アフリケヌとは何か	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 21-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 94
2. 論文標題 黒いソクラテスは語る：創始者アリウン・ジョップと学生組織	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 49-59
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 22
2. 論文標題 被えぬ負債に憑かれること：ニジェール西部における調査経験から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 白山人類学	6. 最初と最後の頁 59-77
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中村隆之	4. 巻 94
2. 論文標題 ダヴィッド・ジョップの アフリカ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Sakuma, Yutaka	4. 巻 17/2
2. 論文標題 Who Owns This Land?: A Polyphonic Approach to the Agrarian Regime in Songhai Society (Western Niger)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japanese Review of Cultural Anthropology	6. 最初と最後の頁 5-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakuma, Yutaka	4. 巻 91
2. 論文標題 Surrogate of Fear: An Ethnographic Study of Hippopotamus Hunting in the River Niger	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of African Studies	6. 最初と最後の頁 17-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 140
2. 論文標題 自由と負債：カール・ポランニー2.0の経済人類学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 113-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakuma, Yutaka	4. 巻 1
2. 論文標題 Moral Economy and Land Tenure in Sahel (Western Niger)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings of 7th International Workshop on African Moral Economy with Professor Goran Hyden: Peasant Economy of Africa in Comparative and Historical Perspectives	6. 最初と最後の頁 16-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛・中村隆之・星埜守之	4. 巻 3326
2. 論文標題 鼎談 「文化」をどう政治的に考えるか：国際シンポジウム「『プレザンス・アフリケーヌ』研究」(＠東京外国語大学)を振り返る	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 92(12)
2. 論文標題 亀裂の上に世界を作る：国際シンポジウム「『プレザンス・アフリケーヌ』研究」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ふらんす	6. 最初と最後の頁 16-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村隆之	4. 巻 94
2. 論文標題 アリウン・ジョップ「ニヤーム・ンゲーラあるいは『プレザンス・アフリケーヌ』の存在理由	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 365-382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NAKAMURA Takayuki, SAKUMA Yutaka, LOMO MYAZHIOM Agge Celestin, HOSHINO Moriyuki	4. 巻 198
2. 論文標題 Construire le monde a partir d'un faille. Presence Africaine, projet-monde : de la negritude a la creolisation...	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Presence Africaine	6. 最初と最後の頁 9-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 SAKUMA Yutaka	4. 巻 58
2. 論文標題 Present Condition of the Sudanese Agricultural Complex: The Case of Western Niger	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 African Study Monographs. Supplementary Issue	6. 最初と最後の頁 3-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/244117	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SAKUMA Yutaka	4. 巻 -
2. 論文標題 The Potential of Debts that Cannot be Paid	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Challenge of African Potentials: Conviviality, Informality and Futurity	6. 最初と最後の頁 63-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 -
2. 論文標題 経済と社会：経済を人類の地平で見るとはいかなる試みか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフリカで学ぶ文化人類学	6. 最初と最後の頁 39-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐久間寛	4. 巻 -
2. 論文標題 話とカメラ：『大河での闘い』をめぐる	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジャン・ルーシュ：映像人類学の越境者	6. 最初と最後の頁 89-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NAKAMURA Takayuki	4. 巻 198
2. 論文標題 Litterature, Langue et politique : les enjeux autour du debat sur la poesie nationale	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Presence Africaine 81-98	6. 最初と最後の頁 81-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NAKAMURA Takayuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Modernite noire chez les etudiants et intellectuels a Paris durant l'entre-deux-guerres	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Paris creole	6. 最初と最後の頁 97-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計18件 (うち招待講演 4件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 創始者アリウン・ジョップと黒人学生組織
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yutaka Sakuma
2. 発表標題 The Potential of Debts that Cannot Be Paid
3. 学会等名 8th African Forum in Accra: Futurity in African Realities (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 被えぬ負債に憑かれること ニジェールにおける経験から
3. 学会等名 負債をめぐるポリティクス 東南アジア, オセアニア, アフリカの事例から
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 生を産むことのダイナミズム ニジェール農村地帯における情動の社会保障
3. 学会等名 AA研共同利用共同研究課題「ダイナミズムとしての生 情動・思考・アートの方法論的接合」2018年度第1回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村隆之
2. 発表標題 20世紀の黒人詩人ダヴィッド・ジョップにおける〈現前するアフリカ〉
3. 学会等名 日本アフリカ学会第55回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 【フォーラム】アフリカ独立期における文化の政治：『プレゼンス・アフリケーヌ』研究 趣旨説明
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 オーラルからモータルへ：ニジェール西部の人と土地をめぐる社会関係
3. 学会等名 白山人類学研究会2017年度第1回定例研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakuma, Yutaka
2. 発表標題 Introduction: Art, affect et action
3. 学会等名 Symposium international Art et affect en Afrique (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 戦場としての大河、劇場としての大河：J.ルーシュ「大河での戦い」をめぐる一注釈
3. 学会等名 日本文化人類学会関東地区研究懇談会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakuma, Yutaka
2. 発表標題 Bataille dans le fleuve, bataille en dehors du fleuve: Une etude ethnographique de la chasse a l'hippopotame sur le Niger
3. 学会等名 Conférence d'ethnologie par l'Association d'ethnologie de Strasbourg (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐久間寛
2. 発表標題 趣旨説明 文化誌研究から文化<資本>研究へ：P. カザノヴァ 『世界文学空間』を手掛かりに
3. 学会等名 「『ブレザンス・アフリケーヌ』研究：あらたな政治=文化学のために」2017年度第3回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayuki NAKAMURA
2. 発表標題 Litterature, langue et politique : les enjeux autour du debat sur "la poesie nationale"
3. 学会等名 Colloque international Presence Africaine: Vers de nouvelles perspectives politiques et culturelles (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SAKUMA Yutaka
2. 発表標題 Dette et societe au Niger
3. 学会等名 Seminaire de UMR (7367) , Dynamiques Europeennes "Mondialisation et mutations sociales en Afrique" (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 SAKUMA Yutaka
2. 発表標題 Le Socrates noir parle ...: Alioune Diop et l'organisation des ?tudiants noirs
3. 学会等名 Presence Africaine : Espaces, langues, cultures, politiques et societes dans l'espace francophone (Afrique, Ameriques, Asie, Europe) du colonial au post-colonial
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐久間 寛
2. 発表標題 負債の力を問いなおす：趣旨説明
3. 学会等名 AA研共同利用共同研究課題「負債の動態に関する比較民族誌的研究」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐久間 寛
2. 発表標題 テントを切り裂けばバターがある。放っておく?』：現代ニジェールにおける恋愛、移動、自由
3. 学会等名 国立民族学博物館研究プロジェクト「ネオリベラリズムのモラルリティ」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 NAKAMURA Takayuki
2. 発表標題 La traduction d' Edouard Glissant en japonais et la rEception du Discours antillais au Japon
3. 学会等名 EDOUARD GLISSANT et Le Discours antillais : la source et le delta
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村隆之
2. 発表標題 エドゥアール・グリッサンの小説世界における動物：『痕跡』読解
3. 学会等名 文学・環境学会第25回全国大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 中村隆之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 春陽堂書店	5. 総ページ数 352
3. 書名 野蛮の言説	

1. 著者名 奥 彩子、鷗戸 聡、中村 隆之、福島 伸洋	4. 発行年 2020年
2. 出版社 松籟社	5. 総ページ数 288
3. 書名 世界の文学、文学の世界	

1. 著者名 Yutaka Sakuma and Yukako Yoshida eds.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 79
3. 書名 Disability and Affect: Proceedings of Two International Symposiums about Art	

1. 著者名 中村隆之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 夜光社	5. 総ページ数 96
3. 書名 ダヴィッド・ジョップ詩集	

1. 著者名 Sakuma, Yutaka	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 69
3. 書名 "Rapport: Symposium international Art et affect en Afrique"	

1. 著者名 Sakuma, Yutaka ed.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Presence Africaine	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 Index de Presence Africaine par auteurs (1947-2016)	

1. 著者名 Sakuma, Yutaka, Takayuki Nakamura, Aggee Celectin Lomo Myazhiom	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 115
3. 書名 Annuaire des auteurs et livre des resumes. Colloque international Presence Africaine: Vers de nouvelles perspectives politiques et culturelles	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 隆之 (NAKAMURA Takayuki) (20510085)	早稲田大学・法学学術院・准教授 (32689)	